

Week of April 5, 2026 - Peace Be with You　　Small Group Lesson 13

知り合う

今日の聖書箇所では、弟子たちが安全と平安を求めて、鍵をかけた部屋に隠れています。(19節)あなたが心からの平安を必要とする時、主の前に静まり、主を待ち望むためのお気に入りの「安全な場所」や「隠れ家」はどこですか？

聖句　ヨハネによる福音書 20:1-23（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

1 週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行った。そして、墓から石が取りのけてあるのを見た。2 そこで、シモン・ペトロのところへ、また、イエスが愛しておられたもう一人の弟子のところへ走って行って、彼らに告げた。「誰かが主を墓から取り去りました。どこに置いたのか、分かりません。」3 そこで、ペトロともう一人の弟子は外に出て、墓へ行った。4 二人は一緒に走ったが、もう一人の弟子のほうが、ペトロより速く走って、先に墓に着いた。5 身をかがめて中をのぞくと、亜麻布が置いてあるのを見たが、中には入らなかった。6 続いて、シモン・ペトロも着いた。彼は墓に入り、亜麻布が置いてあるのを見た。7 イエスの頭を包んでいた覆いは、亜麻布と同じ所には置いてなく、離れた所に丸めてあった。8 それから、先に墓に着いたもう一人の弟子も中に入って来て、見て、信じた。9 イエスが死者の中から必ず復活されることを記した聖書の言葉を、二人はまだ理解していなかったのである。10 それから、この弟子たちは家に帰って行った。11 マリアは墓の外に立って泣いていた。泣きながら身をかがめて墓の中をのぞくと、12 イエスの遺体の置いてあった所に、白い衣を着た二人の天使が、一人は頭の方に、一人は足の方に座っているのが見えた。13 天使たちが、「女よ、なぜ泣いているのか」と言うと、マリアは言った。「誰かが私の主を取り去りました。どこに置いたのか、分かりません。」14 こう言って後ろを振り向くと、イエスの立っておられるのが見えた。しかし、それがイエスだとは分からなかった。15 イエスは言われた。「女よ、なぜ泣いているのか。誰を捜しているのか。」マリアは、園の番人だと思って言った。「あなたがあの方を運び去ったのでしたら、どこに置いたのか、どうぞ、おっしゃってください。私が、あの方を引き取ります。」16 イエスが、「マリア」と言われると、彼女は振り向いて、ヘブライ語で、「ラボニ」と言った。「先生」という意味である。17 イエスは言われた。「私に触れてはいけない。まだ父のもとへ上っていないのだから。私のきょうだいたちのところへ行って、こう言いなさい。『私の父であり、あなたがたの父である方、また、私の神であり、あなたがたの神である方のもとに私は上る』と。」18 マグダラのマリアは弟子たちのところに行って、「私は主を見ました」と告げ、また、主から言われたことを伝えた。19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちは、ユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸にはみな鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。20 そう言って、手と脇腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。21 イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父が私をお遣わしになったように、私もあなたがたを遣わす。」22 そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。23 誰の罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。誰の罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか?

学び 今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 6〜7節によると、亜麻布と頭を包んでいた覆いはどのように置かれていましたか？その『整然とした静かな様子』は、2節でマリアが最初に感じた『誰かに主が盗まれた！』というパニックや混乱した状況と、どのように対照的ですか？

2. 15節で、マリアは深い悲しみに打ちひしがれていたため、目の前にいるのがイエスだと気づきませんでした。16節でイエスが発した『ある特定の言葉』は何でしたか？ また、なぜその言葉が彼女の心を悲しみから喜びと平安へと変えたのでしょうか？

3. 19節で、弟子たちは（ユダヤ人たちを）恐れて、戸に鍵をかけて集まっていました。イエスが彼らにかけた最初の言葉は何でしたか？ また、なぜその時の彼らにとって、その言葉が最も必要なものだったのでしょうか？

4. 20節によると、イエスは『平和があなたがたにあるように』と言った直後に何をなさいましたか？ また、イエスの受けた傷（主の犠牲）は、主が私たちに与えてくださる『平和』のどのような土台となっているのでしょうか？

分かち合い

話し合い１

武牧師は水の手押しポンプの例えを用いて、『あふれるばかりの命の水』を体験するためには、今私たちが握りしめているわずかな安心感（セキュリティ）を、神様に注ぎ出し、委ねる必要があることを示しました。

今のあなたにとっての『一杯の水（呼び水）』とは何ですか？ 神様にすべてを委ねることにためらいを感じてしまうような、この世的な安心感、人間関係、あるいは個人的な夢は何でしょうか？

話し合い２

イエスは「父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす」と言われ、私たちがこの世界で主の臨在の延長として歩めるよう、聖霊を与えてくださいました。自分が「主の平安をもたらす者」として遣わされていると知ることは、同僚や家族、隣人との関わり方をどのように変えるでしょうか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。